



森のなかま

2018年3月号

NO. 119 (継続264号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302



山の神祭 開かれる

平成30年1月14日(日)

山の神祭は準備から始まって執り行いまで森林文化部会の皆様にすべてやって頂きました。

準備:注連縄作り

大掃除 昨年末の12月17日12:30~16:15に大掃除を行いました。

祠(ほくら)の内部や外側等を雑巾掛けし、「山神権現社」の銘がある御神体(板)を清めて頂きました。

注連縄(しめなわ)もこの日作り取り付けしました。

準備 山の神祭の当日も祭事の1時間以上前に集合し、準備をして頂きました。注連縄(しめなわ)に紙垂(しで)を取り付け、玉串(たまぐし)を作成し(榊(さかき)に紙垂をつける)、お供え物の設置、直会(なおらい)で使う盃の整理、鰯(スルメ)や目刺しの準備など、沢山のやる事が有りました。

準備が整ったころ、山の神祠詣での会員の皆様が到着しました。

祭事 神祭式次第に沿い、献饌(けんせん)の儀⇒お払いの儀⇒祝詞奏上(のりとそうじょう)⇒玉串奉奠(たまぐしほうてん)⇒直会(なおらい)の儀、の順に祭事を執り行い、この一年の活動の安全を祈願しました。

(神主:高橋(修)さん⑨、祭事進行:真貝さん⑪)

直会 祭事の直会は神聖に懇懃講(いんぎんこう)で執り行いましたが、祭事終了後の直会は無礼講(ぶれいこう)です。奉納された神酒や、縁起ものの鰯や目刺しを頂き、会員間の親交親睦を深めました。お酒の量も多く、最後には皆様がすっかり出来上っていました。そして午後の15期生歓迎の会員の集いに「わたや」向かったのです。

式次第

山の神祭式次第	
一、開会の辞	
二、一同拝礼	
三、献饌の儀	
四、お払いの儀	
五、祝詞奏上	
六、玉串奉奠	
七、直会の儀	
八、一同拝礼	
九、閉会の辞	

山の神祠詣でに集まる皆様

一同拝礼

(取材&写真:広報部 松本 ⑪)

無礼講の直会:休憩棟前

祠と奉納物



会員の集いと15期生新会員37名歓迎の会が盛況に開催される 1月14日(日)

< 事務局長 福島 正治 11期 >

山の神祭式次第に沿い祭事が無事終了後、松田町「わたや」で総勢 77 名が揃い盛大に会員の集いと15期生の歓迎会が行われました。休憩棟前で奉納されたお神酒の下地が入った中、久保理事長のご挨拶から始まり、11期上宮田さんの流暢な司会の流れで多彩な顔ぶれの15期生の自己紹介も和やかな雰囲気の中で行われました。最後に森林文化部会副部会長で神主を務めた9期高橋(修)さんの締めで無事終了となりました。今後の会の発展と15期生のご活躍を期待いたします。

集い開催(左手前側が15期の皆様)



久保理事長の乾杯



司会の上宮田さん



締めの高橋さん

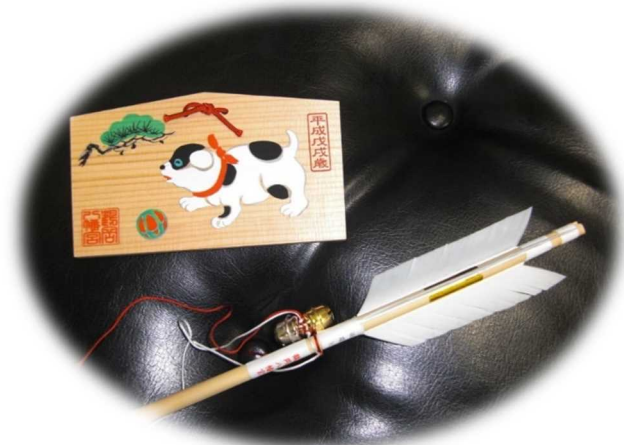


15期の皆さんの自己紹介(写真は一部の方のみ (平均年齢は??(55歳))



新年開運の破魔矢・絵馬を頂戴致しました

1月19日(金)に鶴岡八幡宮 教化部長、権禰宜(ごんねぎ)の角井司様が厚木事務所に来所され、鶴岡八幡宮 新年開運の破魔矢と絵馬を お持ち頂きましたので、皆様にご報告させて頂きます。角井様のご配慮を頂き、会員の皆様の一年間無事をお祈りし事務所に飾らせて頂きます。尚昨年の破魔矢は八幡宮古神札の奉納所に納めさせて頂きました。
<記 事務局長 福島 正治>



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

自然観察部会 平成29年度 冬の探鳥会『酒匂川河口周辺』

小田急線栢山駅から酒匂川 2018年1月6日(土) 晴れ 参加者27名

講師インストラクター: 11期 松永 廣 氏

<記 鳥海 芳裕 14期>

(写真撮影: 鳥海 14期)、大原 13期)

小田急線「栢山」駅に9時集合。皆さん時間に正確で、予定通り酒匂川に向かって出発。駅からは、10分もしないうちに河川敷に出ました。そこはもう野鳥観察には、もってこいの場所です。「ダイサギ」が舞い、「カワアイサ」が泳ぎ、「アオサギ」がたたずむ。参加者は、河川敷で、双眼鏡やカメラを手に、夢中になって鳥を追いかけてまわっていました。



ダイサギ



カワアイサ



コガモ



アオサギ

ゴイサギ幼鳥
(ホシゴイ)

コサギ



マガモ ♂♀



オオバン



ユリカモメ



イカルチドリ



タヒバリ

昼食休憩の「しらさぎ公園」ではオナガをテーマに松永氏に講和していただいた。スペインのイベリア半島にも生息しているらしい。

私たちの飲料水の話によく出てくる「飯泉取水堰」名前は知っていても実際に見るのは初めての方もいました。



(次ページに続く)

(前ページより)



カワウ群



ヒドリガモ群

河川、河川敷外にいた鳥たち

モズ



ジョウビタキ



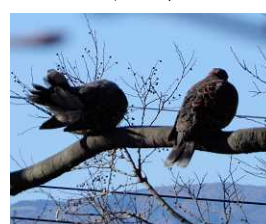
イソヒヨドリ



ホオジロ



キジバト



＜今回確認できた鳥＞ヨシガモ・ヒドリガモ・マガモ・カルガモ・カワアイサ・カイツブリ・キジバト・カワウ・ゴイサギ(幼鳥)・アオサギ・ダイサギ・コサギ・オオバン・イカルチドリ・タンギ・イソギ・ユリカモメ・セグロカモメ・オオセグロカモメ・ミサゴ・トビ・オオタカ・カワセミ・モズ・ハシボソガラス・ハシブトガラス・シジュウカラ・ヒヨドリ・メジロ・ムクドリ・ツグミ・ジョウビタキ・イソヒヨドリ・スズメ・キセキレイ・セグロセキレイ・カワラヒワ・ホオジロ・アオジ・カワラバト 計42種類

＜参加者＞黒澤⑧、鈴木⑧、内野⑨、女川⑨、小笠原⑩、小林⑩、松山⑩、佐藤(義)⑪、松本⑪、湯浅⑪、赤崎⑫、石川⑫、小池⑫、宇田川⑬、江上⑬、大原⑬、長尾⑬、松石⑬、岩田⑭、小松⑭、西岡⑭、鳥海⑭、牧石⑭、石垣⑮、植原⑮、鶴井⑮、植原⑮、石垣⑮



「自然環境保全センター研究成果報告会」開催のご案内

森林の保全・再生に係わる方やより専門的な内容を知りたい方を対象として、

研究連携課が取組む各研究プロジェクトの一部成果についての報告会を開催することとなりました。

本県の水源環境保全・再生対策や丹沢大山自然再生の取組みとも関連する内容です。下記のとおりご案内致します。

1 行事名 自然環境保全センター研究成果報告会 2 開催日時 平成30年3月19日(月) 10:00～15:30

3 開催場所 神奈川工科大学 IT エクステンションセンター 302 大講義室

厚木市中町 3-3-17 神奈川工科大 IT ビル内 TEL046-296-5070

4 プログラム

＜午前＞・県内で初めて発生したナラ枯れの被害状況(最新ピックス)

・「丹沢ブナ林再生指針」の概要とブナ林の調査研究の概要 ・山岳地における大気・気象モニタリング

＜午後＞・対照流域法による森林の水源涵養機能調査の概要と最新の研究成果

・県内4か所の試験流域における水循環特性・県内各水系の源流河川(各試験流域)における水生生物群集の特性

5 対象者 県内の森林の保全・再生に係わる方、または、専門的な内容を知りたい方

6 定員 80名(事前申込制、先着順)

7 申込み方法 行事名「研究成果報告会」

・所属(団体名)・氏名・電話番号を明記して(人数と代表者の氏名・連絡先でも可)、FAX または、

県ホームページ内の自然環境保全センタートップページ <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1644/> から、

「自然環境保全センターの問合せフォーム」にてお申込みください。

参加申込・問合せ先・研究企画部 研究連携課 内山佳美 電話 046-248-0321 FAX 046-247-7545

メール:uchiyama.vka1@pref.kanagawa.jp

(公財)かながわトラストみどり財団 平成29年度『ブラッシュアップ研修 ②』

日時:平成29年12月3日(日)8:30~16:00 晴れ 場所:南足柄市風切地内(風切水源林)

(写真:財団 内田様)

- 1.目的 森林インストラクターの資質向上を図るため、安全な間伐作業を行うための現地研修を実施する
- 2.研修内容 神奈川県の実証林業事業体である 株式会社湯山林業から 3名の講師を招き、間伐作業における選木・伐採・玉切整理等の技術を習得する。(講師:川井、神谷、小向の3名様)

8:30~9:00 新松田駅(富士急湘南バス操車場)集合/受付/発 9:00~9:30 県立21世軍の森“第2厘車場”着
 9:30~10:00 準備運動後、徒歩にて現地まで移動 10:00~15:00 研修(昼食休憩含む) 15:00~15:10 道具清掃・片付け
 15:10~15:30 徒歩にて第2駐車場まで移動 15:30 21世紀の森 発 16:00 新松田駅 着/解散

財団: 内田様、古舘様 看護師: 青木様

参加者: 41名

第1班: 高橋③、相馬⑤、富樫⑥、松村⑧、飯澤⑨、波多野⑨、大澤⑩、大橋⑪、湯浅⑪、松本⑪、西出⑫、山崎⑫、宇田川⑬、武井⑬、牧石⑭

第2班: 鈴木③、佐藤⑤、山崎⑦、久保⑧、水津⑨、福島孝弘⑨、後藤⑩、徳岡⑪、岸⑪、宮下⑫、永松⑫、前田⑬、立花⑭、水野⑭

第3班: 滝澤⑤、北村⑥、有坂⑧、辻村⑨、内野⑨、松山⑩、福島正治⑪、真貝⑪、安井⑫、斉藤⑬、藺田⑬、⑭小松⑭、羽鳥⑭

< 第3班研修生 安井 健人 12期 >

- 3班は 講師:小向様 参加者13名 10時から15時(昼休憩1時間)まで作業を行いました。
 時間内で5本のスギ・ヒノキを伐倒。選木は、劣勢木・通行の障害となる木・倒しやすい木が対象となりました。
 以下、林業施業者の手順で気づいた点を記します。
 受け口の高さは地際で行いました。講師からは、安全に作業を行う為であり、ツルが破断しても地面に直ぐ落ち、幹の跳ね返りを防ぐことができる為。との事でした。
 追い口切りでは、伐倒方向の調整を左右のツルの巾で調整しました。受け口の方向から右へ倒したい時は、右側のツル巾を厚くしてツルが破断しないよう残す。厚い方が支点となつて、右側へ倒れる。倒したい方向と重心がズレている場合、又、意識して山側へ倒した場合に応用できます。これは、インストラクターでも行っている技であると、先輩から伺いました。
 最後の一本は受け口を入れたところで時間切れとなり、追い口以降は講師が行いました。プロのスピードと合理性、瞬時の判断に目を見張るものがあり、圧倒されましたが、我々インストラクターは、安全第一が最も重要な目的であり、その為にマニュアルを基本とする事を再認識した一日でした。

安全な伐倒方向は？



狙い通りの方向に倒れ始めました



受け口切り込み開始



仕上げの玉切り、枝払い

受け口切り込み完了
追い口切り込み開始

第1班で発生
 掛かり木をロープで引っ張
 っていたら突然倒れました
 根元が枯れ始めていたのです



活動短信

今回の掲載は平成29年11/12～12/16です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラスト
より



地始凍 11/12～11/16頃
ちはじめてこおる
大地が凍り始める
第五十六候 立冬 次侯

熊蟄穴 12/12～12/16頃
くまあなにこもる
熊が穴に入って冬ごもりする
第六十二候 大雪 次侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)
場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
参加者 人数
県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研 研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

※活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。※

◆ 県民参加の森林づくり

間伐

日 平成29年11月12日(日)8:30～14:00、晴れ
場 湯河原町鍛冶屋 (町有林)
参 39名
財 豊丸課長、鳥海様 看 青木様
イ L松永⑪、高橋③、相馬⑤、小野⑦、有坂⑧、
鈴木⑧、水津⑨、大澤⑩、小笠原⑩、後藤⑩、松本⑪、
宮下⑫、北村⑬、藤代⑬、前田⑬、牧石⑭、研 宇田川⑬
朝から晴天に恵まれ、湯河原駅に 8:30 集合マイクロバ
ス4台に分乗して現地へ向います。奥湯河原の紅葉が心
地よく窓を流れていきます。現地へ到着してオリエンテー
ションの開始、ストレッチ体操して体が温まったら道具とヘル
メットを身に付けて山に入ります。本日、伐倒する森林
は35年生ヒノキです。直径が20cm以上あり気合いを入れ
ないとケガに繋がります。

4班すべての班が枝掛かりして倒してから処理に苦勞

していましたが、メンバー全員で協力した後は玉切り作業
です。20cm以上の丸太を手鋸で切断するのは結構な労
力が必要ですが、汗をかきながら切断して、等高線状に並
べて作業終了です。参加者39名に対して全部で17本の
ヒノキを伐採出来て参加者は満足して帰宅できたと感じま
した。

(記 松永 廣 ⑪)

◆ 小田原市立早川小学校
森林環境教育

日 平成29年11月13日(月)8:45～12:10、晴れ
場 早川小学校 学校林
参 小学5年生33名、教師4名

小田原市役所農政課 伊藤様、小泉様
小田原市森林組合 佐藤様、甲斐様 東條様

イ L小笠原⑩、小沢⑨

早川小学校5年生が待ちに待った晴れの活動日がやっ
てきたよ！当初予定日が台風の影響で中止になってしま
ったのだ！

8:45 バス2台に分乗し、小学校学校林へ出発。学校林
と言ってもソノジョソコラの学校林とは規模がちがう、箱根
ターンパイクを入り左側に本格的な山林が見えてきた。
バスを降り林道を自然観察しながら30分位歩き、活動場
所に到着。

小田原森林組合、3名の方の指導を受けながら間伐、
枝打ち体験。森林組合の方による杉、檜各一本の間伐、
実演を見ていた生徒達は目を輝かせて見学していた。

早々に伐倒された木のそばに行き腰に付けた鋸を使い
枝打ちの実習。鋸の使い方を理解したところで、各々がコ
ースターを作成し本日の記念品として持ち帰った。生徒の
中には枝打ちした枝まで大事そうに持っていく者もいた。

全員林道に戻りヘルメット、鋸等を返却し、ヒヤリハットの
確認後質問等の終わりの会を行いバスにて学校に戻り、
お別れ！

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 川崎市立宮崎小学校

「やどりき水源林で自然観察」

日 平成29年11月16日(木)10:00～13:30 晴れのち曇り
場 やどりき水源林
参 小学5年生 5クラス 198名、教師他11名
イ L ⑦白畑、井出①、足立④、宮本④、森本⑤、三浦
⑧、小沢⑨、村井⑨、杉崎⑩、永松⑫、大原⑬、古館⑬、
真部⑬ 13名

3つのコースに分かれ、紅葉真っ盛りの水源林の中を歩

きながら自然観察を行った。

A:H22・23・24 成長の森コース(7 班)

B:周遊 B コース(3 班)

C:林道から H19 成長の森コース(2 班)

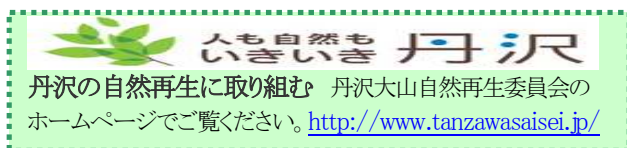
各コースに共通するテーマとして、「モデル的な水源林を見て学ぶ」「森林と水のつながり」「生き物の生態や人との関わり」「森の楽しみ方」など、各インストラクターはパネルを使ったり、質問を交えたりして、それぞれに工夫を凝らし指導を行った。生徒たちはそれに答えるように熱心に耳を傾け、質問には自分なりに一生懸命考え答えた。

Q:山の上の方で切った木はどのように下ろす？

A:転がす。川に流す。ヘリコプター。...

新鮮な森の空気を吸い。木の葉の匂いを嗅ぎ。沢の音を聞き。山道では一生懸命歩き。沢の一本橋を恐々渡り。眺望を楽しみ。水源林をしっかりと歩いての野外学習は充実したものになったと思う。

(記 井出 恒夫 1期)



◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社

第36回プリウス森木会の森林活動

日 平成29年11月18日(土)、曇のち小雨

11月19日(日)、晴れ

場 松田町寄

午前;やどりき水源林 午後;ミロクキャンプ場

参 18日;25名(うち、子供7名)、

19日;31名(うち子供11名)

スタッフ 神奈川トヨタ 黒澤室長、加藤室長、

佐藤様、寺嶋様、他スタッフ6名

県 18日:中田様、19日:前原様 看 萩原様

イ 18日 L⑪福島、⑤森本、⑦若林、⑧草野、

⑨高橋、⑩上田、⑪山下、⑪真貝、⑬斉藤

19日 L⑪福島、①菊地、⑤森本、⑦若林、

⑧草野 ⑩上田 ⑪山下、⑪湯浅、⑭笠原

恒例の神奈川トヨタ自動車(株)森木会様の森林活動が

11月18日、19日の両日にかけて実施されました。

イベント成功の可否はお天気次第ですが、雨バージョン・

プロの用意を含めて「やどりき」での土留め用丸太材の準備等万全の支度をして、プリウス・オーナー様をお待ちしました。

*一日目(18日)

心配されていたお天気も午前の活動中は崩れることもなかったが、東名事故の影響で参加者の集まりが遅れ、予定時刻を少し遅れて活動開始。

(午前) 開会式、準備体操の後、ヘルメット着装、鋸・熊手・掛や・鉋し番線・シノ等を各自持ち、トヨタプリウス・フィールドへ。ほぼ家族単位の班編成になったので、土留め用の丸太筋工を父親の杭打ちから開始。お子様の初めての鋸の使用などもあって、厳しい作業ながらも和やかに進められた。帰りには、記念撮影と午後の焼き芋用の杉の枯れ枝などを集め、袋に入れて早めに下山した。

(午後) お天気模様から、参加者の昼食は午後の活動場所であるミロクキャンプ場に移動しお待ちかねの焼き芋に備えた。小雨もあり、管理事務所の軒下を利用し半割ドラム缶に火を起こしてから、テント内で「さつま芋」を新聞紙に包んでボールの水に浸け、更にアルミホイールに包んでから、ドラム缶の焚火の中に置いて焼きあがるのを待つことに。焼きあがるまでの時間に、各班のインストラクターが「水は森からやってくる」のパンフを使用し、水源林涵養などの話をしながら焼きあがるのを待つこと40分。温かい焼き芋を頬張ることができ、寒空のなか「幸せ」を感じながら、早めの解散となった。

*二日目(19日)

今日は朝から快晴に恵まれ絶好の活動日和になった。予定時刻より早めに活動開始となり、午前は丸太筋工による土留め柵作りとBコース経路の落ち葉拾い・清掃活動。子供たちも杭打ち・鋸の使用に挑戦、大人の方も番線を使つての柵作りに悪戦苦闘しながらボランティア活動に満足の様子。

午後は広場中央に白い椅子を用意し、インストラクターによる「水源林涵養の話」と焚火を囲んでの焼き芋も順調に進み、参加者にも満面の笑みが見られた。

両日とも、事故もなく、子供たちが非日常の自然や焚火などに喜びを爆発させていたのが印象的でした。子供たちからも楽しかったとの言葉をいただきました。

(記 草野 弘 ⑧)

◆ 県民参加の森林づくり

枝打ち

日 平成29年11月19日(日)8:30～15:00、晴れ

場 南足柄市塚原水源林

参 56名

財 豊丸課長、鳥海様、古舘様 看 青木様
(用具) 森林組合

イ L 立花⑭、永野⑥、白畑⑦、篠原⑨、大橋⑪、
上宮田⑪、真貝⑪、吉田⑪、渡辺⑫、宇田川⑬、
齋藤⑬、藤代⑬、松石⑬、焼尾⑬、小林⑭、牧石⑭
晴天に恵まれた日曜日となり、絶好の枝打ち日和となった。開成駅に集まり、班ごとに分かれてマイクロバスに乗車し、時刻通りに塚原水源林へ向かった。

豊丸課長からの挨拶では、900本の14年生ヒノキがあるという規模感の説明があり、参加者のモチベーションはアップ。立花統括リーダーより、急斜面と隣接作業、及びノコギリを鞘にこまめにしまうなどの安全面での注意事項の丁寧な説明があった。斜度があり、笹が多く生えている作業場ではじめ参加者の作業はなかなか進まなかったが、斜面上部の枝打ちについては、目の高さ程度まで枝打ちが済んでいる木も数多くあり、もともと予定していたエリアの上部の枝打ちも進めることができた。

昼食後は、開成町民センターへ移動し、2団体のボランティア活動の紹介を受けた。

一つは、小田原山盛りの会により、箱根付近におけるシカの生態状況の説明があり、丹沢におけるシカ被害ほどではないものの、シカの旺盛な食欲は、数は少なくとも環境の変化をもたらしてしまう危機を解説された。

二つ目の花咲く里山もりあげ隊からは、里山活動を紹介いただき、熱心な学生から古民家にぜひ体験生活をしたなどの要望もあり、活発な発表会となった。若い力で森と人をつなぐことのできる可能性を感じさせた。

(記 焼尾 徹 ⑬)

◆ 横浜市立浅間台小学校

間伐体験

日 平成29年11月20日(月)10:00～14:45、曇り

場 相模原市緑区 長竹分収林

参 47名(大人5名 小学5年生42名)

財 古舘様

イ L 西出⑫、小野⑦、高橋⑨、藺田⑬、小松⑭

雨が降りそうな寒い日でしたが、元気に、楽しく、林業の学習として間伐体験を行い、子供たちの笑顔と歓声に包まれました。

愛川ふれあいの村に集合し挨拶、注意事項の説明、準備体操の後、長竹にバスで移動し4班に分かれて道具を持って現地に到着。子供たちはヒノキが林立しているのにびっくり。森林、林業の話と間伐の必要性、安全作業について説明しました。

選木、ロープ掛け、受け口と追い口切りも全員で行い、「ヨイショ」の掛け声で見事に木が倒れると、力を合わせたから倒れたと大喜び。ヒノキの切り口に「いいにおい！」と感動した後に昼食をとり、午後は伐採木の枝払い、玉切りした後、楽しみにしていたコースター作りを各自で行いました。ヒノキは堅くノコギリでうまく切れませんが全員が頑張ってマイコースターを手にして満足そう。

道具の片付けをして愛川ふれあいの村に戻り終わりの会をしました。子供たちの感想は、森林作業の大事さがわかった、空が見えて明るくなった、楽しかった、また作業したい、の声が多く、森林を守り育てる重要性を実感できたのではと思いました。

(記 小松 立史 ⑭)

◆ 鎌倉市公園協会、

平成29年度緑のレンジャーシニア、第9回

日 平成29年11月25日(土)10:00～13:30、晴れ

場 鎌倉市中央公園-子供の森

参 12名(男10名、女2名)

スタッフ (公財)鎌倉市公園協会 千田様、後藤様

イ L 安部⑤、小沢⑨

平成29年度緑のレンジャーシニア研修もいよいよ最終コーナーへと入り、参加される皆さんも道具の目的、使い方、手入れ等の一連の流れもだいぶ身に付けられ、動作も率先しての動きへと変わってきました。

天候不順により予備日[11/25]の活動。秋の陽射しがまぶしい中、日陰に入るとちょっぴり寒さを感じる一日となりました。

本日の課題は公園管理作業をいかに行うかを目標とした活動と成りました。まずは公園内に入り見た目にも整備された雰囲気に見えるかを感じ取り、伸びすぎた草木の手入れ、花が終わった紫陽花の選定(ちょっとタイミングがずれている)等、ビフォーアフターで見るとこれは歴然で

す。込み合った木の間伐、一連の研修結果の復習です。最も重要なポイント作業として、公園の名前からもお分かりのように子供たちが遊ぶ子供の森です。その大切な作業は枯れ枝の処理です、何時枝が落下するか解らない状態で放置された場合、公園管理者はどのような立場に成るでしょう！

木々の上部を見上げ高枝ノコギリやロープを使用し処理するのにだいぶ時間をかけ、且つ丁寧に処理をしました。安全、安心としての公園、利用されて頂ける環境をつくる事こそ本日の作業の第一義でした。

除伐、間伐、選定の作業を全員無事終了し、昼食を取りながらコミュニケーションタイムを取り 13:30 散会しました。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 日揮株式会社

森林癒やし体験とクリスマスリース作り

日 平成 29 年 11 月 25 日(土)10:00～15:00、晴れ

場 松田町寄 やどりき水源林

参 10 名

イ L 若林⑦、笠原⑭

お天気に恵まれ、終盤になった紅葉を鑑賞しながら森林散策、癒やし体験を行いました。

散策は和気あいあいとリースに使う落ち葉をひろい、散策の後は癒やし体験。森の中にごろんと寝ころび、風に揺れる樹冠や流れていく雲から自然の揺らぎを感じる体験をしていただきました。ほぼ落葉の終わった林の中でのハンモックは明るい日差しが差し込みユラユラしながらの日向ぼっこで、皆さん「気持ちよかった」との感想。寒い時期での野外活動でしたので温かいハーブジュースをお飲みいただき、ながら『森の中のカフェ』となり好評でした。

午後はクリスマスリース作りを行い、皆さん思い思いのリースが出来上がりました。

深い緑の杉のリースに、赤や黄色のカエデの葉が映えとても立派なリースとなり、皆さん喜びながら森からの贈り物をお持ち帰りいただきました。

ほぼ、リピーターの参加者様で内容が代わり映えないのが申し訳なかったのですが「また来年も参加したい」とのお言葉をいただき、大変うれしく思う活動となりました。

(記 笠原 かずみ ⑭)

◆ 県民参加の森林づくり

間伐

日 平成 29 年 11 月 29 日(水)9:20～13:00、晴れ

場 南足柄市塚原(塚原水源林)

参 57 名

財 鳥海様、古舘様 看 小林様

イ L 西出⑫、國分③、柏倉④、佐藤⑤、鈴木(昭)⑦、鈴木(敏)⑧、草野⑧、園田⑨、辻村⑨、内野⑨、高橋⑨、水津⑨、松本⑪、東昭一⑫、古舘⑬、水野⑭

青空の下、周りの森の鮮やかな紅葉が目を楽しませてくれる中、14 年生のヒノキ林で間伐作業を行いました。今回は、企業からグループで来られた初参加の若い方も多かったのですが、樹高も 5m 位の程よい高さで、皆さん、緊張感の中にも楽しく作業をされていました。

8:40 に 5 台のバスに分乗して小田急線・開成駅を出発し、塚原水源林に向かいました。到着後、オリエンテーションを行って、山に入りました。現場は、まだ間伐途上で薄暗く、下草も十分育っていない所で、皆さん、真剣に作業に取り組んでいました。約 2 時間の作業を終え、少し光が差し込むようになった森を眺めて、今日の成果に感慨深い思いを抱かれた様でした。

昼食後のミーティングでも、「森の中で汗をかき、気持ち良かった」とか、「また今度、是非、参加したい」などの感想が聞かれ、皆さん、満足された様に感じました。このような活動を通じて、一人でも多くの人に森林整備に関する関心を深めて頂ければと思いました。

(記 西出 健一 ⑫)

◆ 富士通エフ・アイ・ピー株式会社

「富士通 FIP の森(活動林)」における

間伐体験、自然観察

日 平成 29 年 12 月 2 日(土)10:00～12:30、晴れ

場 山北町世附 富士通エフ・アイ・ピーの森

参 25 名

県 羽鹿様、益子様、中田様

スタッフ 加藤様

○間伐

イ L 上田⑩、佐藤⑤、有坂⑧、齋藤⑧、石川⑫、牧石⑭

当日の天候は晴れ、丹沢湖畔の木々が緑と紅葉に彩られる素晴らしい情景の中で、事前に選別された樹高 15m 以上、胸高直径 20cm 前後の大きな杉の木の間伐活動を

実施。参加者25名(約6割の方が今回初参加)が5班に分かれ、「なぜ間伐を行うのか」「森の大切さ」「間伐の手順」等についてレクチャーを行い理解していただいた後、間伐活動をスタート。

最初に、木の重心の見極めと伐倒方向について確認し、ロープ掛け、滑車の設置、ロープ引き場所、退避場所を決め、マーキングに従い受け口の切り込みを実施。追い口を切り始める前にロープ引きのタイミング、退避場所の再確認を行い、マーキング位置まで追い口を切り込んだ後、ロープを引くと、大きな杉の木がゆっくりと傾きはじめ、その後一気ドーンと言う音と共に倒れるとその迫力に驚かれていましたが、決めた伐倒方向に倒れた事を確認すると、参加者より笑顔があふれ間伐の迫力を実感されていました。

各班スギ2本計10本の間伐活動を予定通り無事終了。参加された皆様、お疲れ様でした。

(記 牧石 稔 ⑭)

○自然観察

① L宮下⑩、真部⑬

自然観察班はA班9名、B班10名に分かれて、丹沢湖に沿った約5キロの林道を、三保ダム駐車場めざして出発した。

朝は冷え込んだが穏やかな晴天となり、花や実の少ない時期ではあるが、山々の景観や体の感覚を通じて季節感を味わいながら気持ちよく歩くことができた。

この時期の山は、紅葉と冬枯れの自然林と濃い緑の人工林のモザイクがくっきり。山頂や稜線上に人工林が存在する不思議さや背景を考えながら歩く場面もあった。

木々の葉が少なかったので、小さな滝や水の流れがみられ、山が水を貯えていることも実感できた。

最初の沢では木の棒を耳に当てて水の流れる音を聞く体験をした。落ち葉を踏みしめる音、ふんわりしたコケの感触、サンショウの実の皮の香りなどをいろいろと確かめながら歩き、到着した頃にはほどよく体も温まった。自然のパワーを感じ、少しでも心地よく過ごしていただけたなら嬉しく思う。

(記 真部 幸枝 ⑬)



◆ 相模原市立藤野小学校

森林の間伐体験

① 平成29年12月7日(木)12:00～15:00、晴れ

② 相模原市緑区澤井 大日野原周辺

③ 小学5年生36名 教師等5名

④ 古舘様

⑤ スタッフ 藤野体験の森やませみ職員 表木様等 5名

⑥ L 佐藤⑤、小野⑦、内野⑨、西出⑫、松石⑬

相模原市立「ふるさと自然体験教室」(ふじの体験の森やませみ)における今年度3回目の「森林の間伐体験」に地元「藤野小学校」5年生36名が参加して行われました。

生徒達は午前中のハイキングを終え早目の昼食を済ませて12時に広場に集合、インストラクターから注意事項等の話し聞いた後、ヘルメット・枝打ち鋸を付け、およそ15分歩いて間伐場所に到着。

4班に分かれて約1時間半、間伐作業、コースター作りを実施した。ここでの間伐はスギ、またはヒノキの直径16～24cm、高さ15～20mが対象で、インストラクターのほか、教師、やませみ職員が各々1名付くと共にインストラクターリーダーと財団職員がフリーで安全管理と応援に対応するような体制で行われる。また、森林のはたらきや間伐の意義、作業内容などについて、生徒達の理解を深めるため事前授業の時間が設けられている。

作業は交代しながら全員で鋸を挽き、最後は力を合わせてロープを引いて倒し、枝払い、玉切り、コースター作りとかかなり慌ただしいが、倒れた時の歓声、手製のコースターの香りが心に残るものと思われる。さすがに、小学生には玉切りを完了するのは負担のようで、作業としてはやり残しが多いが、時間一杯まで頑張っている姿勢に頼もしさを感じる場面も見られた。

やませみに戻り、道具の手入れと約10分間のグルーミーティングを行い、無事に活動を終了した。楽しかったとの声も多く、間伐作業にも理解を深めることが出来たようだ。

(記 佐藤 武晴 ⑤)

◆ 県民参加の森林づくり

除伐

① 平成29年12月16日(土)8:40～12:00、晴れ

② 秦野市曾屋(弘法山公園)

③ 67人

財 豊丸課長、鳥海様、 青木様

スタッフ 秦野市森林づくり課様、森林組合連合会様

イ L後藤⑩、立花⑭、堀江④、佐藤⑤、永野⑥、
阿部⑧、斎藤⑧、大橋⑪、松本⑪、山口⑪、湯浅⑪、
西出⑫、宇田川⑬、小松⑭、鈴木⑭、小貝⑭

2017年最後の県民参加の森づくりは、財団と秦野市との共催で弘法山公園の西斜面での除伐。冬晴れの穏やかな日中で、作業場所の横をハイカーが登る光景が見られた。現場は昨年実施した場所の下側で、下の道路まで。作業内容はイロハモミジ、ダンコウバイ以外の直径10センチ以下の樹木の皆伐。秦野市は将来ここに植林をしたいということで、公園という場所柄もあり、ていねいな作業と作業後の見栄えが求められた。

5班に分かれて作業を進め、午前中のほぼ2時間で現場は暗い雑木林から、たつぷりと日差しが差し込む明るい林に代わった。参加した人もきれいな仕上がりに満足そうだった。けが人などはなかったが、剪定はさみの紛失は大いに反省させられた。

作業が終わった後は、近くに新しくできた「名水はだの富士見の湯」に、秦野市のご厚意で入湯させていただく。施設が小規模でやや混雑したが、参加者は気持ちの良い汗を流した。タオルと名水ペットボトルのお土産付きで、こんなお得で楽しいイベントなら、また参加したいという声も出ていた。

(記 湯浅 鉄男 ⑪)

当会報の『森のめぐみ』を執筆頂いている谷田貝様（東京大学名誉教授）が館長をお勤めの『香りの図書館』が2005年10月の開館以来、香り・においの学術・文化を守り育て「香創育」を志す日本唯一のライブラリーとして運営を続けてきましたが、**2018年2月28日（水）を持ちまして閉館することになりますとの連絡を頂きました。**
(執筆は継続)

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。次掲載は4月号です。

森のめぐみ シリーズ

「国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ」 参加者募集！

国際森林デー（毎年3月21日）は、2012年12月の国連総会において決議、創設されました。

世界で森林や樹木に対する意識を高める記念日です。日本国内においても各地域で植樹・育樹キャンペーンなど森と木に関連した行動を取ることが期待されています。その中央行事として3月24日（土）、「国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ」～五感でつなげる世界の輪～を、東京都江東区の「木材・合板博物館」で開催します。駐日大使館・国際機関の職員やその家族、留学生などの皆さんと、人種、民族、国籍を超えて交流を深めます。

ミニコンサート、映画「うみやまあひだ」の上映会や木工教室などで、五感を通じて樹木に親しむ機会を共にしてもらうことにより、森林を大切に思う心を世界に広げる願いを込めています。

日時： 2018年3月24日（土）13:00～16:00

会場：「木材・合板博物館」（江東区新木場1-7-22 新木場タワー） 参加費：無料

プログラム：第1部ミニコンサート

第2部映画鑑賞会「うみやまあひだ」、ワークショップ（木工教室）、国際交流会、博物館見学会

主催：国際森林デー2018 中央行事実行委員会

（公益社団法人国土緑化推進機構、公益財団法人森林文化協会、公益財団法人オイスカ、特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会、林野庁）

後援：外務省、国土交通省、環境省、東京都、美しい森林づくり全国推進会議、東京緑化推進委員会、公益財団法人PHOENIX、朝日新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟

◇一般参加者の申込方法：

はがき（〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-2-5 新宿ウエストビル3F（株）セレスが新宿営業所）か、

FAX（03-5937-3603）、

Eメール（kokusaishinrin2018@cerespo.co.jp）

で、いずれも「国際森林デー2018 係」へ。

3月12日（月）必着。①代表者の氏名、②郵便番号・住所、③電話番号、④参加希望者全員の氏名・年齢、⑤木工教室に参加希望の方はお子様の学年、を明記の上お申し込みください。先着順の受付で、参加者には招待状を3月中旬に郵送します。

詳細は下記URLを

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_r_yokka/180202.html

やどりき水源林ミニガイド

2月のトピックス

川の水が少なく良いポイントで
寄大橋の全景が撮れました。



(2/20 撮影)

3月の水源林

春の訪れです。中旬にはミツマタ
の花が見頃となります。

「森の案内人」情報

いよいよ3月3日(土)から
案内人が始まります！！

案内人がご案内します。案内と事故
保険は無料です。

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記ま
でご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikil27.html> E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場
線松田駅下車、富士急湘南バス「寄
(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス
下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

やまきた桜まつり



※スケジュールは今のところ未定で
す。3月24日～4月15日の間のうち
15日間を予定しているそうです。
約130本の桜が植えられているJR御
殿場線沿いの桜並木。桜が花を咲かせ
る頃、山北鉄道公園周辺を舞台にやま
きた桜まつりが開催されます。

<http://www.yamakita.net/>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集し
ています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★新しい事が沢山始まる春、どこまで自分
らしく、怯まず挑戦できるか、楽しみたいで
す。

(赤崎)

★寒さの残る畑の野菜無人スタンドに「落
の羹」がありました。早速、夕食の一品
に..春の味覚!

幸せです。

(小川)

★最近不可解なもの。今年のこの寒さが、
地球温暖化の影響だなんて。

もう一つ 時差のない平昌オリンピックで夜
更かしして寝不足になった自分。なんで?

(黒川)

★「先日4年ぶりの大雪が降りしきっている
時に、娘から電話で車でバスに乗るため1
時間待っているのに来ないとの事で、迎え
に行きました。坂の途中で放棄した車、事
故った車など多数あり、雪国の方の苦勞が
身に沁みました。」

(蘭田)

★空気も寒さから清々しさを含むようにな
り、歩いていると春があちこちに感じられま
す。蠟梅、梅、ミツマタも彩を見せてくれ
ています。春だあ!!

(吉田)

★平昌のオリンピック、日本の選手の皆さ
ん頑張っていますね。1998年の長野オリ
ンピック時はマレーシアにいましたが、わ
ざわざ見に日本に戻り白馬の複合団体の
ジャンプを見ました。後に夏にジャンプ台
の上にいきましたが足がすくんでしまいま
した。まさしくアスリートの皆さんは鳥人(超
人)ですね。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方
は、郵便局備付けの郵便振替を利用し
てお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで
2000円をお振込み下さい。振替用紙に
は、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回/
1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島 正治

広報部: 大塚晴子 赤崎さほり

小川和恵 蘭田栄哉

黒川敏史 吉田郁夫

支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子



開催地: 神奈川県松田町西平畑公園 (松田山ハーブガーデン)

開催期間: 2月10日～3月11日 09:00～17:00

5分咲き頃からライトアップ開始。ライトアップ時は21:00まで開園

問合せ: 松田町役場観光協会 電話番号: 0465-85-3130

関連サイト: <http://letsgo-matsuda.com/> (外部サイト)